

プール燃料取り出しの進捗について

2026年7月2日

東京電力ホールディングス株式会社

1-1. 1号機 燃料取り出しの概要（全体概要）

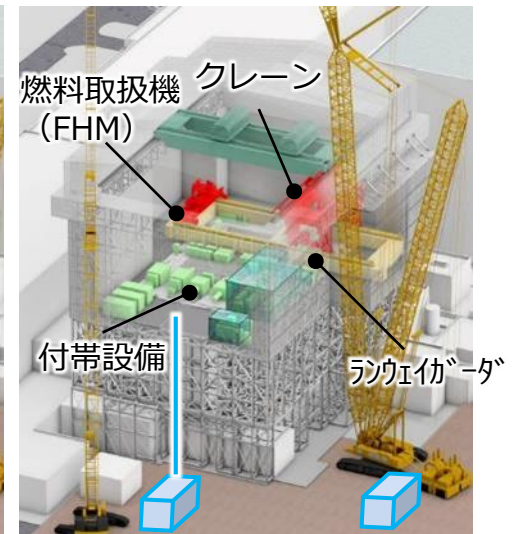
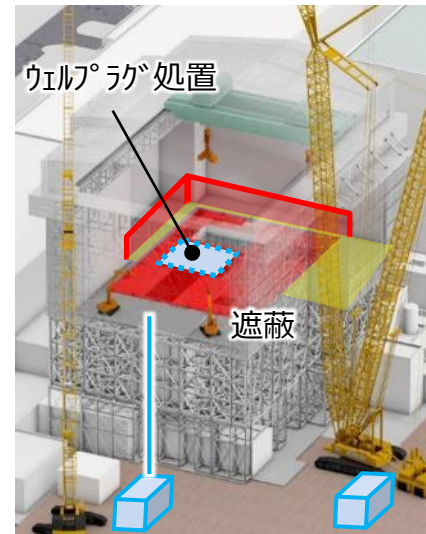
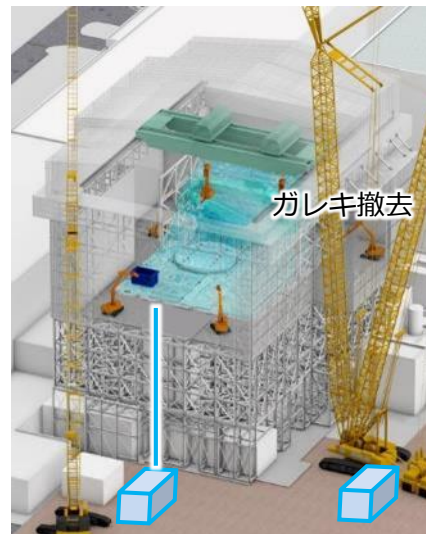
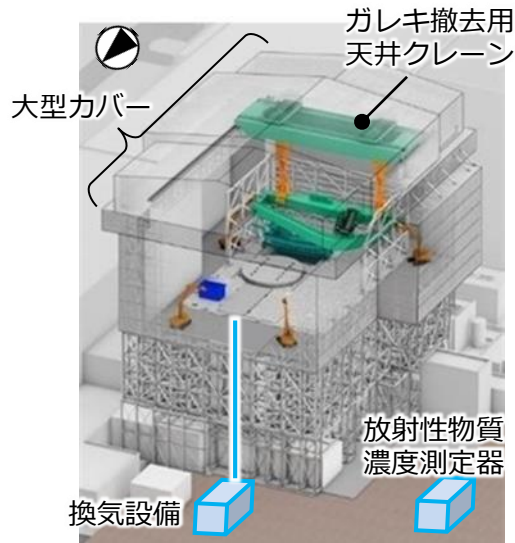
- 1号機使用済燃料プールには計392体※の燃料が貯蔵されている。より安定した冷却・貯蔵が可能な共用プールに搬出するために燃料の取り出しを実施。

※使用済燃料292体、新燃料100体

- 燃料取り出しに先立ち、原子炉建屋を覆う大型カバーを設置し、大型カバー内でガレキ撤去、オペレーティングフロア（以下、オペフロ）の除染・遮蔽を実施し、燃料取扱設備（燃料取扱機、クレーン）を設置。

大型カバー設置完了
(2026/1/19)

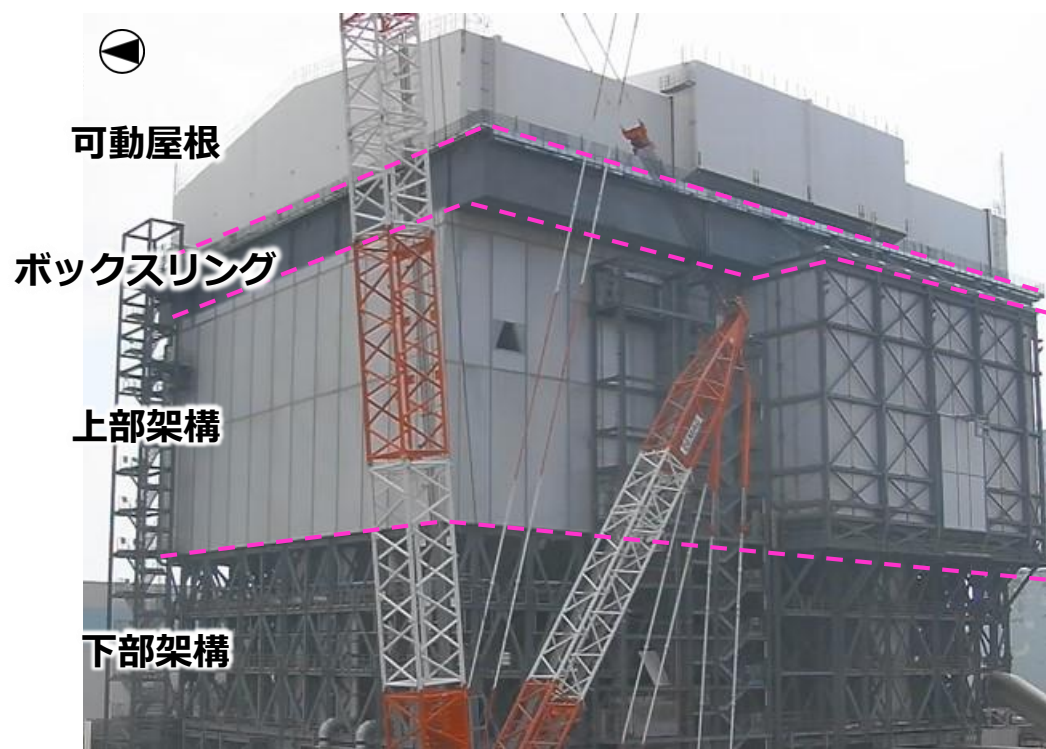
燃料取り出し開始
(2027~2028年度)



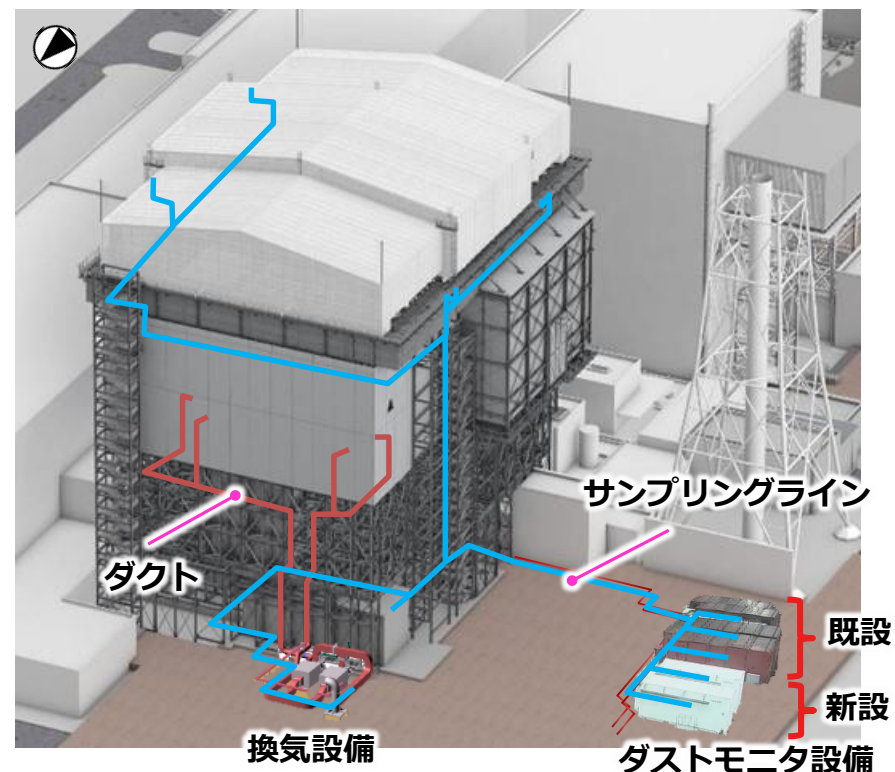
※イメージ図につき実際と異なる部分がある場合がある

1-2. 1号機 大型カバー及び付帯設備等の進捗状況

- 2026年1月19日に大型カバーが完成。
- 2026年3月19日にガレキ撤去用天井クレーン落成検査を合格。
- 2026年3月25日に大型カバー付帯設備の設置が完了。(使用前検査完了)
- 2026年4月 9日に1号機に有効活用する4号機の燃料取扱機の工場搬出が完了。
- 2026年5月13日に大型カバー付帯設備を運用開始。



大型カバー完成状況 (撮影：2026年3月18日)

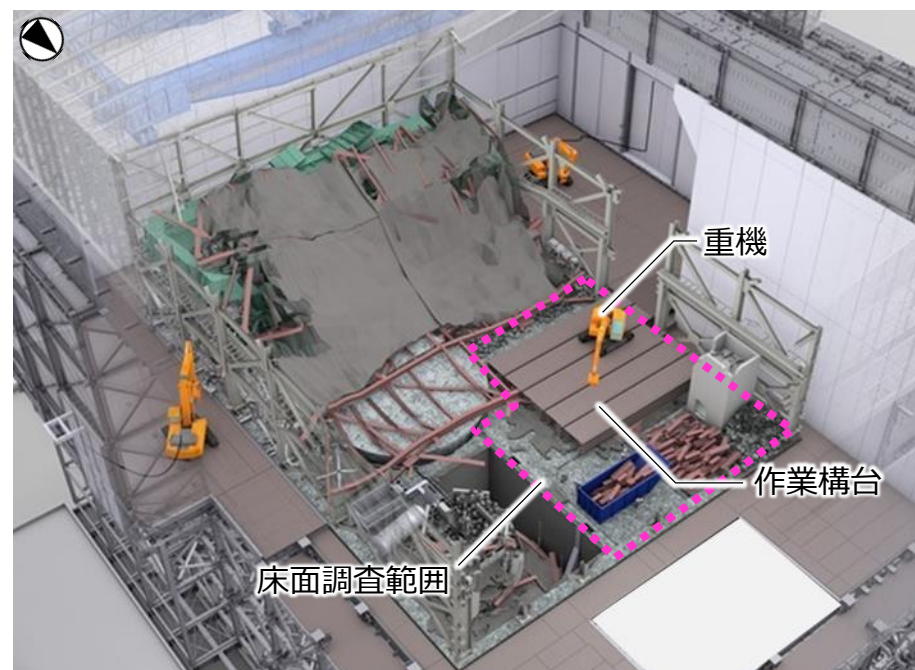


大型カバー付帯設備の設置イメージ

- ガレキ撤去を実施するにあたり、オペフロ北側にガレキ処理用の作業構台や重機を置く計画であるため、事前に床面の状態の確認が必要。
- 床面調査では、ガレキを移動し、床面に構造的に有意な損傷（作業構台の支持箇所
の大きなヒビ割れ等）がないことを確認する。



オペフロ北側床面調査範囲



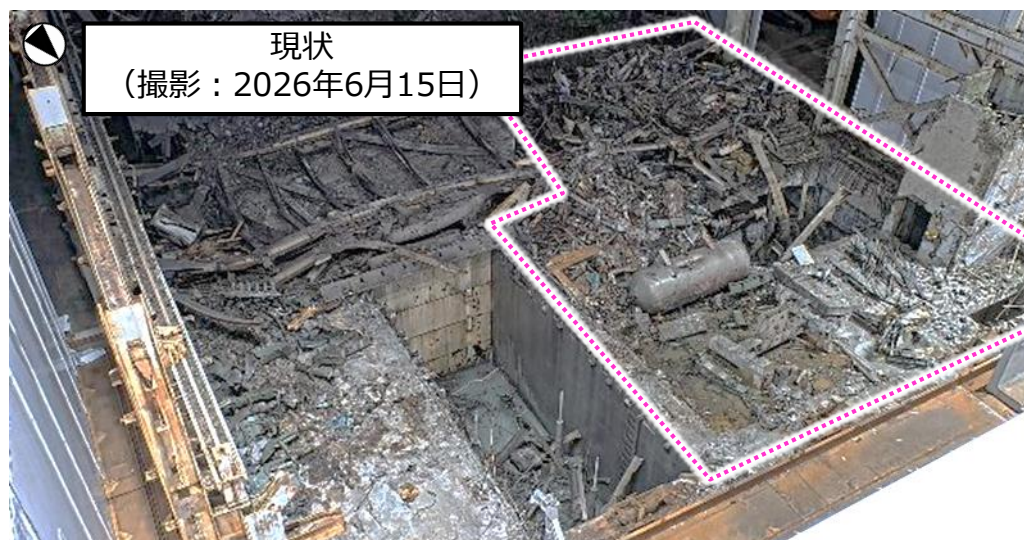
作業構台等設置のイメージ

1-4. 1号機 オペフロ北側床面調査の進捗状況 (2 / 2)

- 2026年1月15日にオペフロ北側床面調査を開始し、ガレキ撤去装置により北側のガレキをオペフロ内で移動。現時点で、床面に有意な損傷は確認されていない。
- 引き続きガレキ撤去と並行し、調査範囲における床面の状態を確認する。



ガレキ移動の状況 (撮影：2026年5月21日)



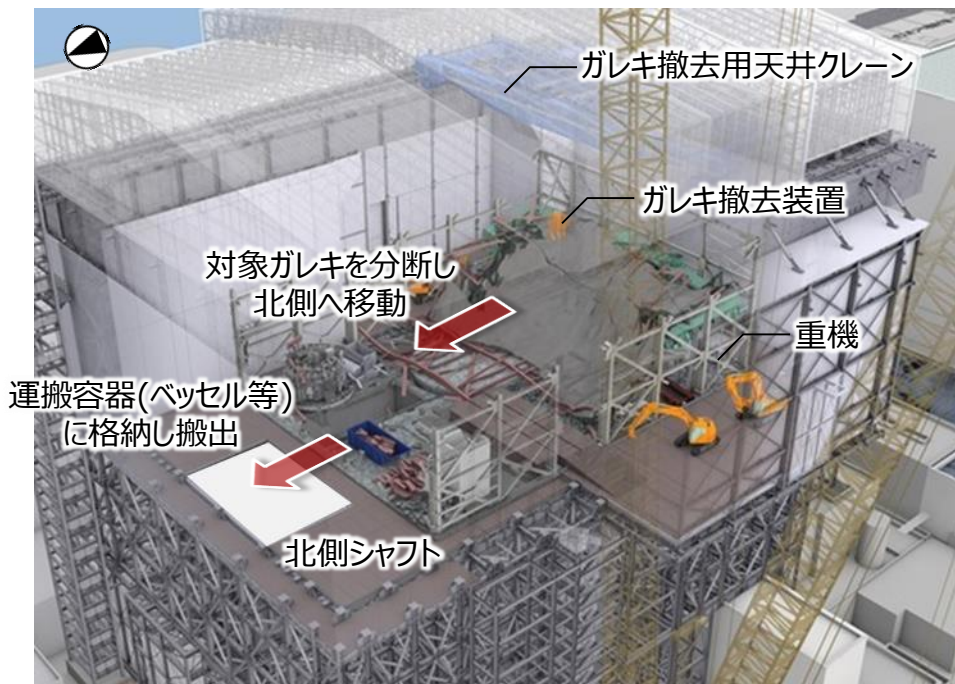
オペフロ北側床面調査範囲



ガレキ移動の状況 (撮影：2026年6月15日)

1-5. 1号機 ガレキ撤去の開始

- 2026年6月22日にガレキ撤去を開始。
- 現在は、ガレキ撤去装置を用いてオペフロ北側ガレキを撤去し、運搬容器(ベッセル等)への収容・搬出を実施。



ガレキ撤去のイメージ



ガレキ撤去の状況 (撮影：2026年6月22日)

1-6. 1号機 燃料取り出しに向けた今後のスケジュール

- ガレキ撤去は2026年6月22日に開始し、オペフロ北側床面調査も継続。
- 引き続き安全最優先に作業を進めてまいります。



2-1. 2号機 燃料取り出し作業の開始について

- 2026年5月29日に実機の燃料取扱設備および構内用輸送容器（以下、キャスク）、模擬燃料を用いた訓練を完了。6月2日から燃料取り出しを開始。
- 2号機の使用済燃料プールに貯蔵していた燃料615体について、新燃料から順次7体ずつ取り出しを行う計画とし、全89回の取り出し作業を予定。
- 7月2日時点で、共用プールにて新燃料14体の取り出しを完了。（全89回中2回目）



1体目の燃料をラックから持ち上げ始める様子
(6月2日午後0時ごろ)



1体目をキャスク※に収納する様子
(6月2日午後0時20分ごろ)

※キャスクは燃料7体収納

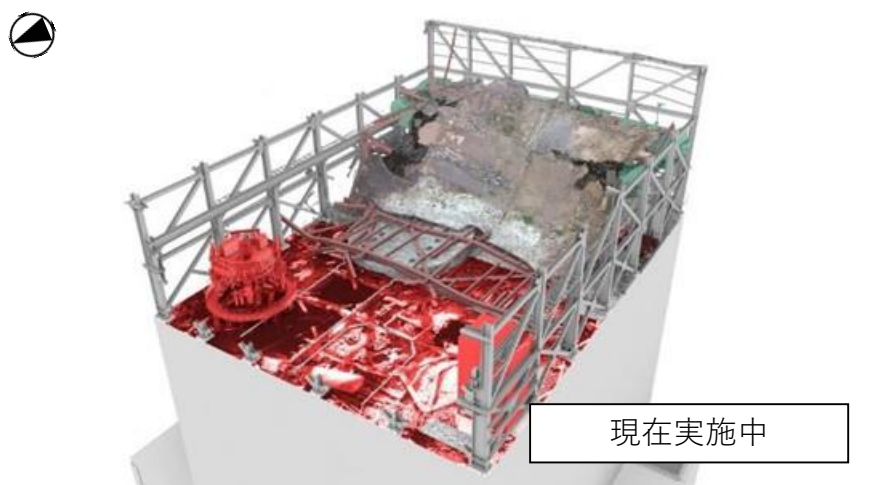
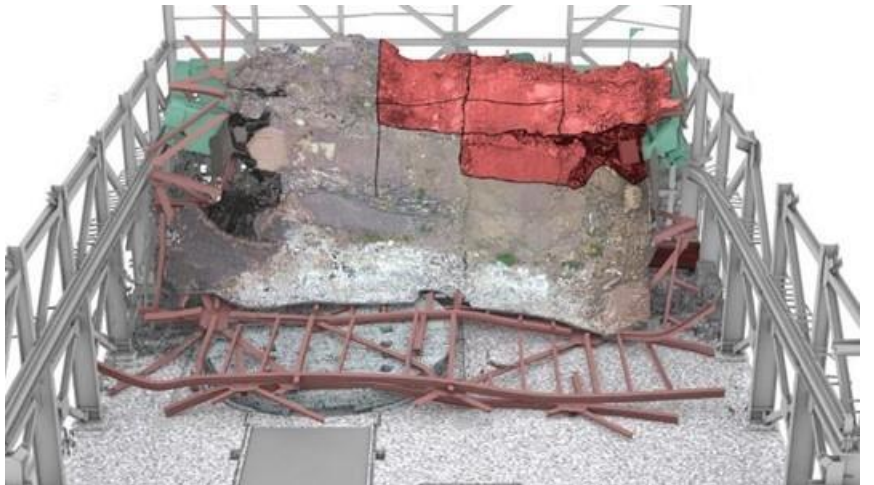


2-2. 2号機 燃料取り出しの今後のスケジュール

- 2号機の燃料取り出しは、2026年6月に作業を開始し、2028年度中の完了が目標。
 - ✓ 設備の点検や共用プールの空き容量確保作業（貯蔵中の使用済燃料を乾式キャスクに収納し、高台の乾式キャスク仮保管設備に移して共用プールの空きを作る）等による中断を含む
- 引き続き安全最優先に作業を進めてまいります。

	2026年度								2027年度		2028年度	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	3Q	4Q	上期	下期	上期	下期
燃料取り出し訓練	訓練		現在									
燃料取り出し			6/2取り出し開始									
設備点検			設備点検				設備点検		設備点検			
共用プール 空き容量確保・設備点検			設備点検				空き容量確保	設備点検	設備点検			
実施計画 構内用輸送容器・燃料取り出し ワイヤ修復燃料取り出し	4/21認可											

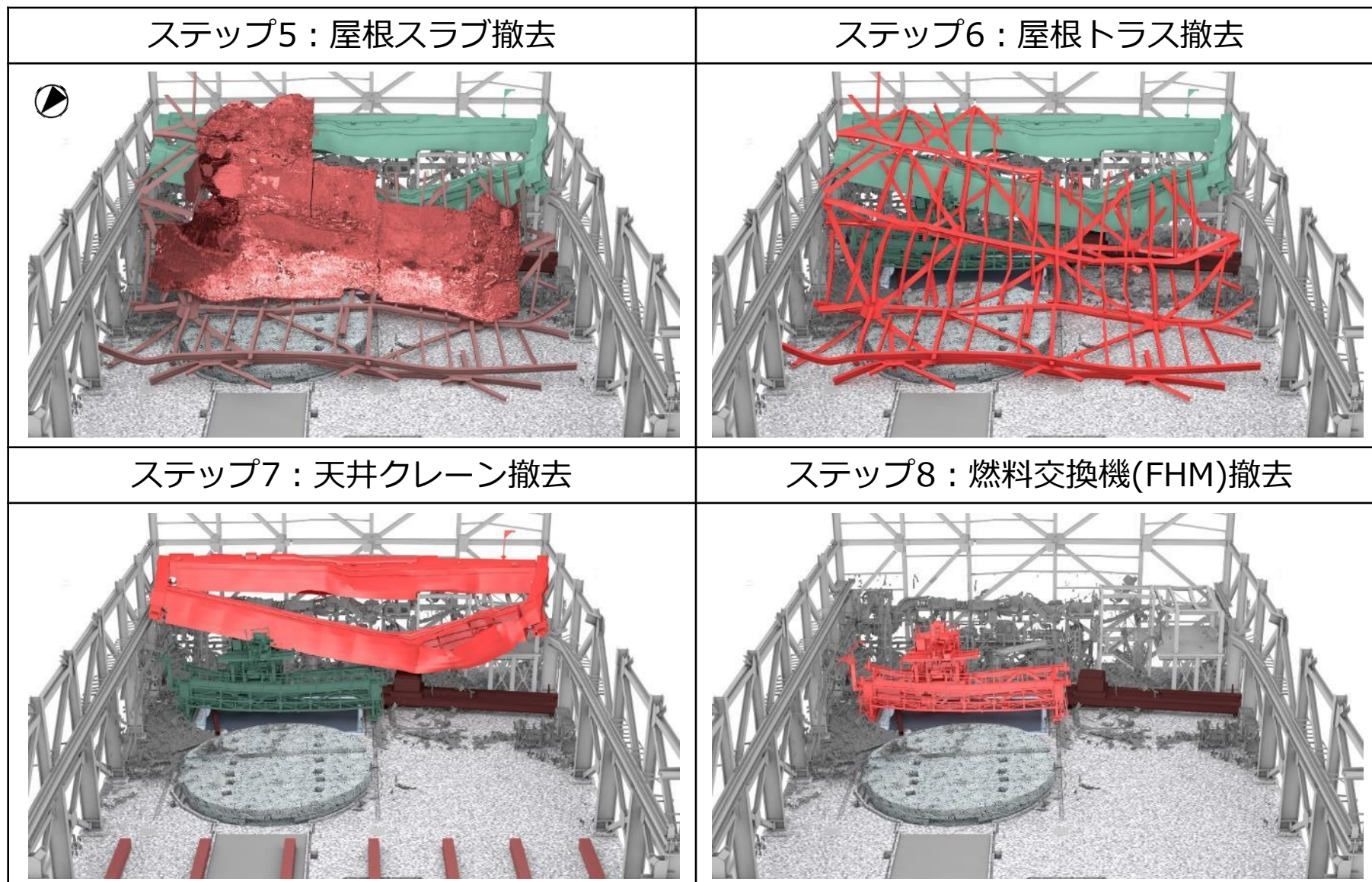
※工程の進捗により変更する可能性有
 ※線表については、準備・片付け作業期間含む

- ガレキ撤去の代表ステップを以下に示す。

<p>ステップ1：北側ガレキ撤去</p>	<p>ステップ2：屋根スラブ撤去</p>
 <p>現在実施中</p>	
<p>ステップ3：屋根トラス撤去</p>	<p>ステップ4：天井クレーントロリ撤去</p>
	

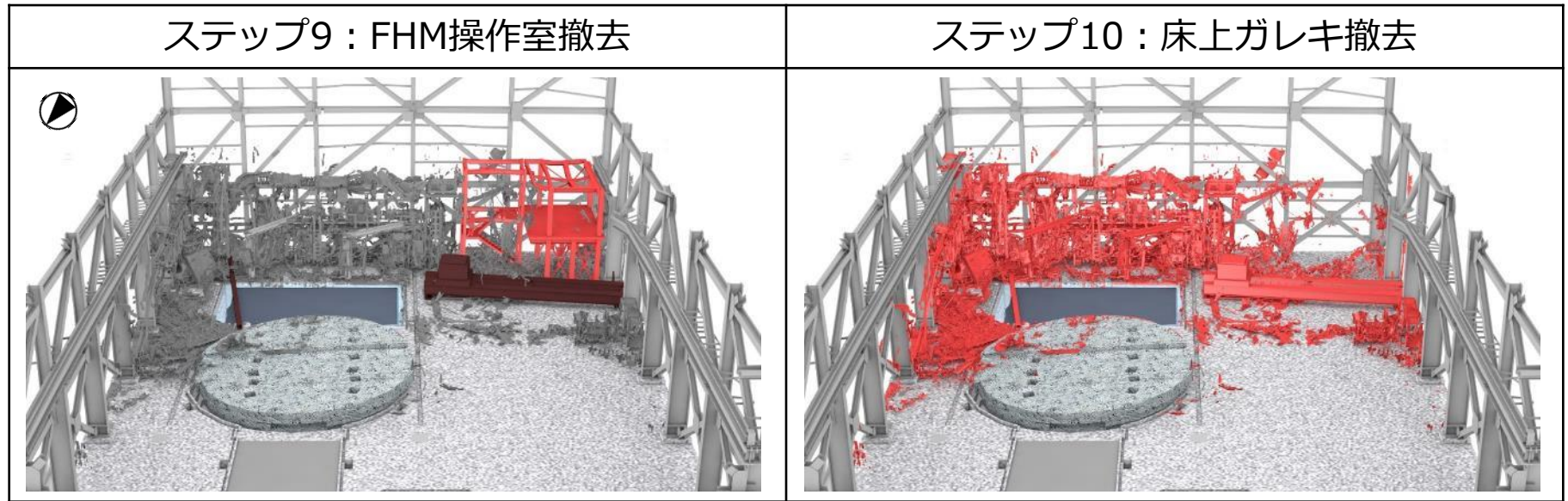
※イメージ図につき実際と異なる場合がある

- ガレキ撤去の代表ステップを以下に示す。

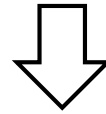


※イメージ図につき実際と異なる場合がある

- ガレキ撤去の代表ステップを以下に示す。



※イメージ図につき実際と異なる場合がある



除染・遮蔽へ

- 原子炉建屋を覆う大型カバーを設置するとともに、換気設備によりカバー内の空気を高性能フィルタ（HEPAフィルタ）を通して大気中に放出することで、ガレキ撤去に伴うダストの飛散リスクを低減。
- ガレキ撤去中は、以下に示すダストサンプリング箇所（R）でダスト濃度を監視する。
- 可動屋根外部（R）または換気設備出口（R）の警報が発報した場合は作業を中断し、断続的な散水を行う。

高高警報値 : $5.0 \times 10^{-3} \text{Bq/cm}^3$
 高警報値 : $1.0 \times 10^{-3} \text{Bq/cm}^3$

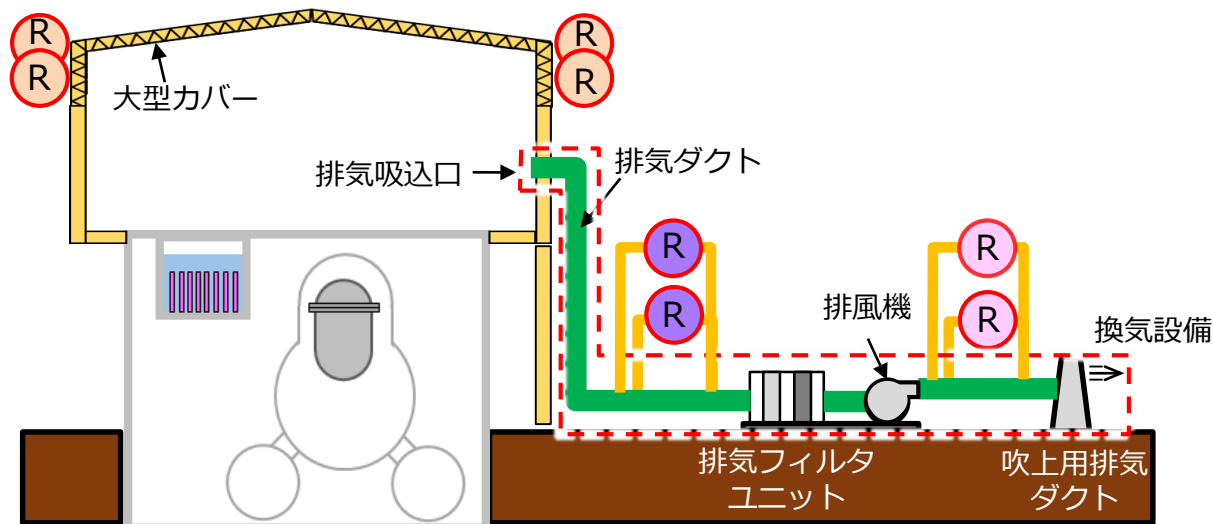
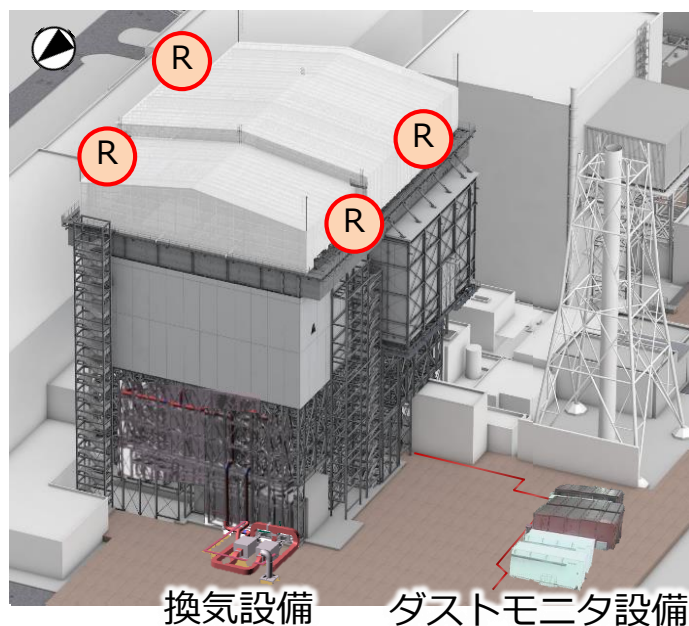
R : ダストサンプリング箇所

○ 可動屋根外部 : 大型カバー可動部のダスト濃度を監視（4点）※

● 換気設備入口 : 大型カバー内のダスト濃度を監視（2点）

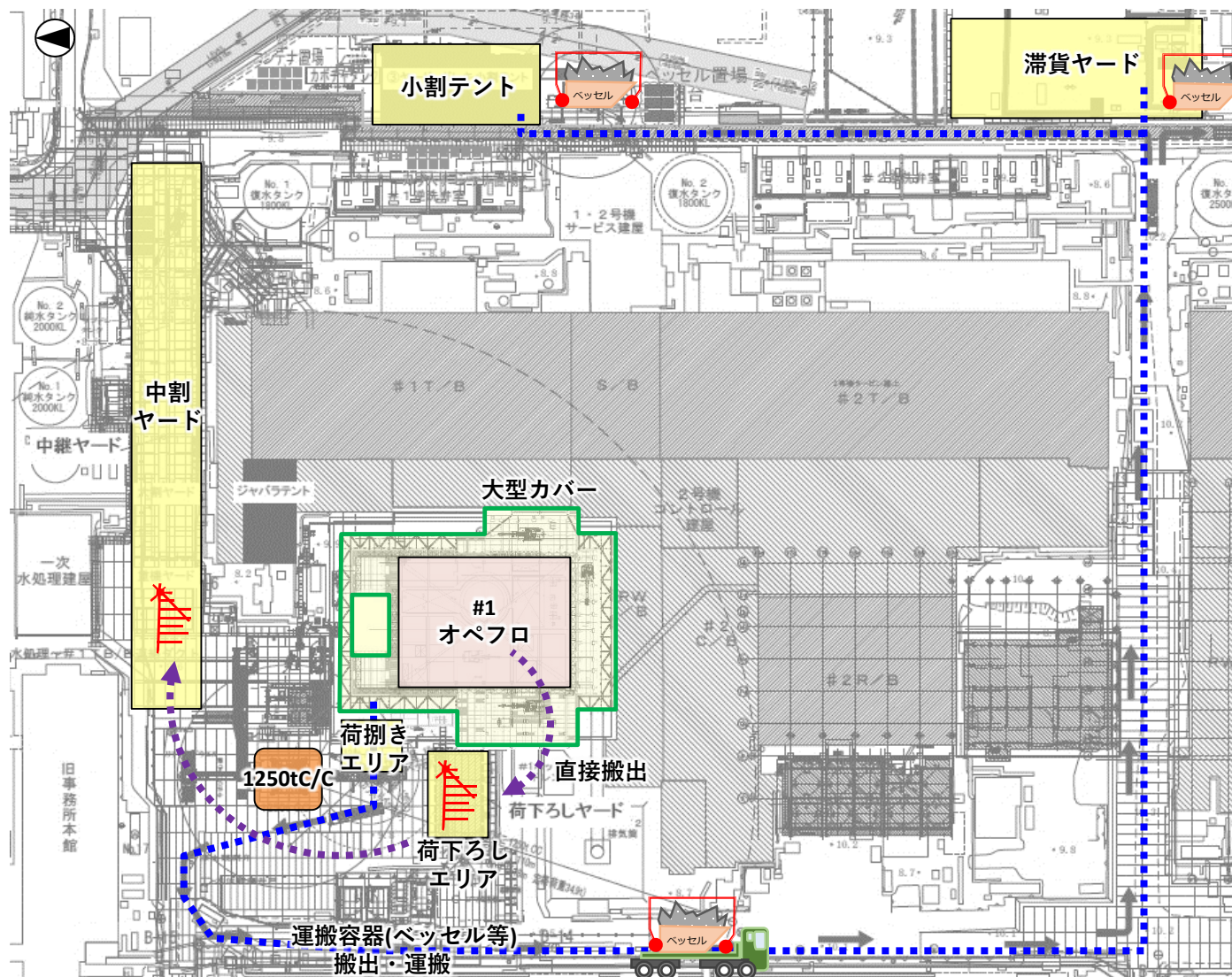
○ 換気設備出口 : フィルタで除去後のダスト濃度を監視（2点）

※ダストモニタ不具合時等においては予備に切り替え可能



ガレキ撤去時のダストサンプリング箇所の概要図

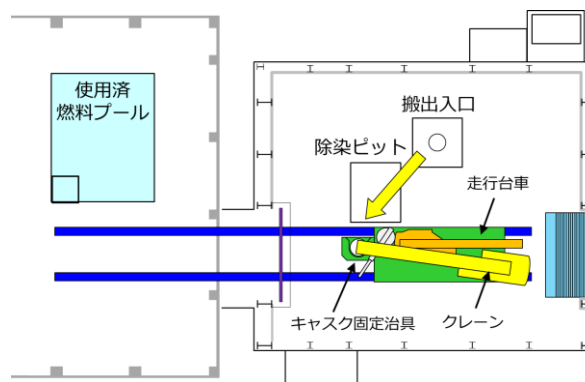
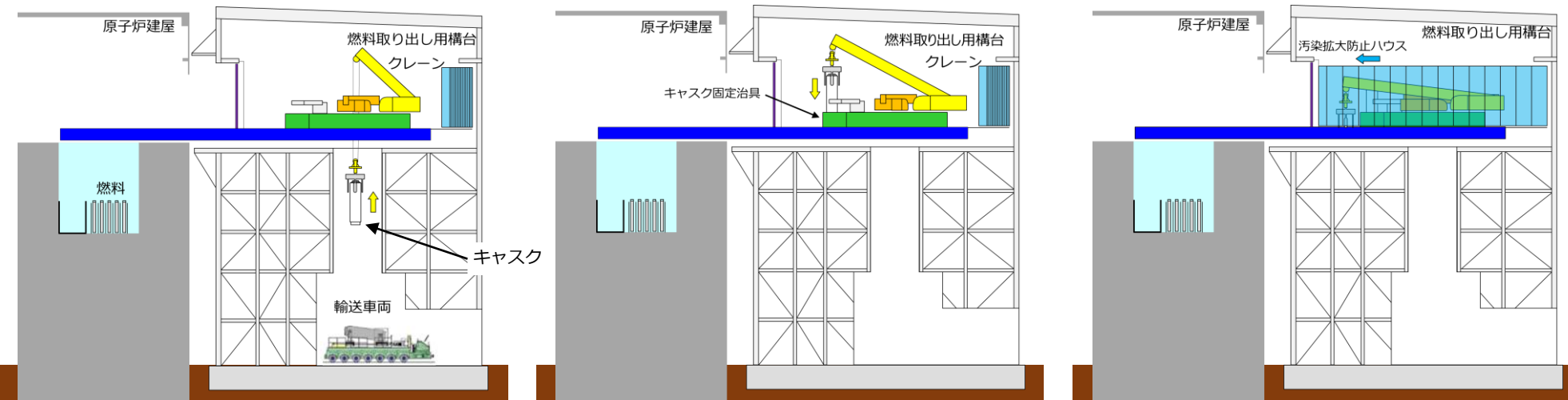
- 運搬容器(ベッセル等)に格納したガレキは、滞貨ヤードまたは小割テントへ運搬する。
- 可動屋根から搬出したガレキは、中割ヤードで運搬容器(ベッセル等)に収容する。



① 燃料取り出し用構台にキャスクを搬入

② 走行台車のキャスク固定治具にキャスクを積載

③ 燃料取り出し用構台の汚染拡大防止ハウスを展開

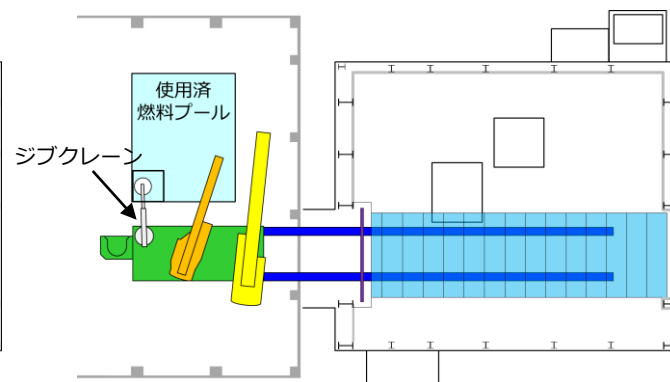
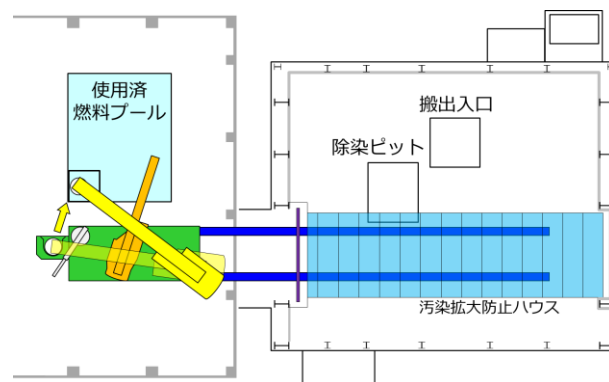
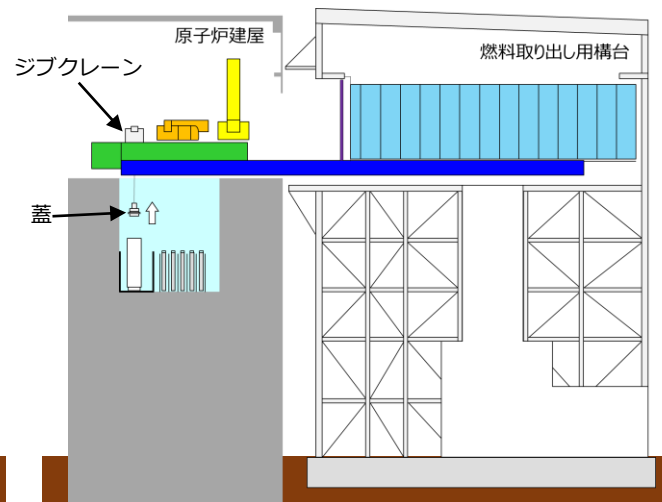
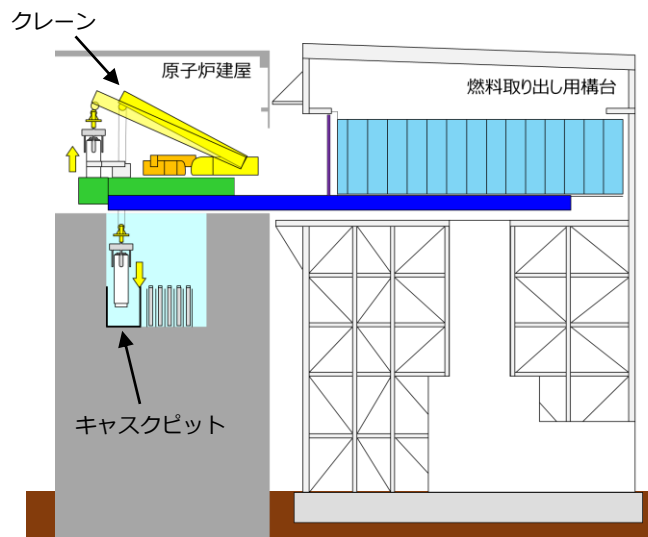
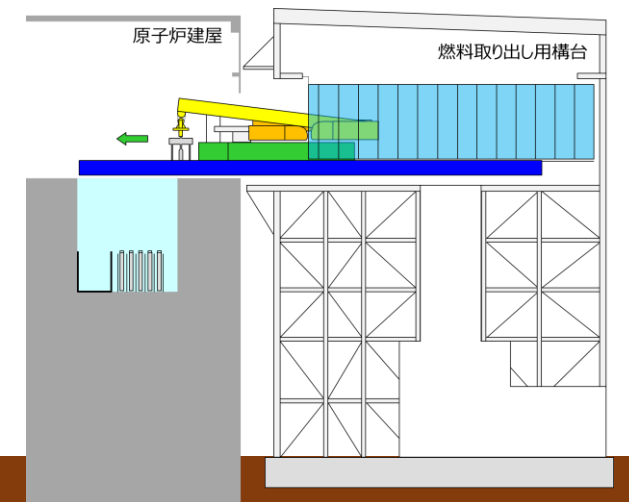


燃料取り出しのイメージ (上段:断面図、下段:平面図)

④ 燃料取扱設備を原子炉建屋内に移動

⑤ クレーンにてキャスクをキャスクピットへ吊り下ろし

⑥ ジブクレーンでキャスクの蓋を取外

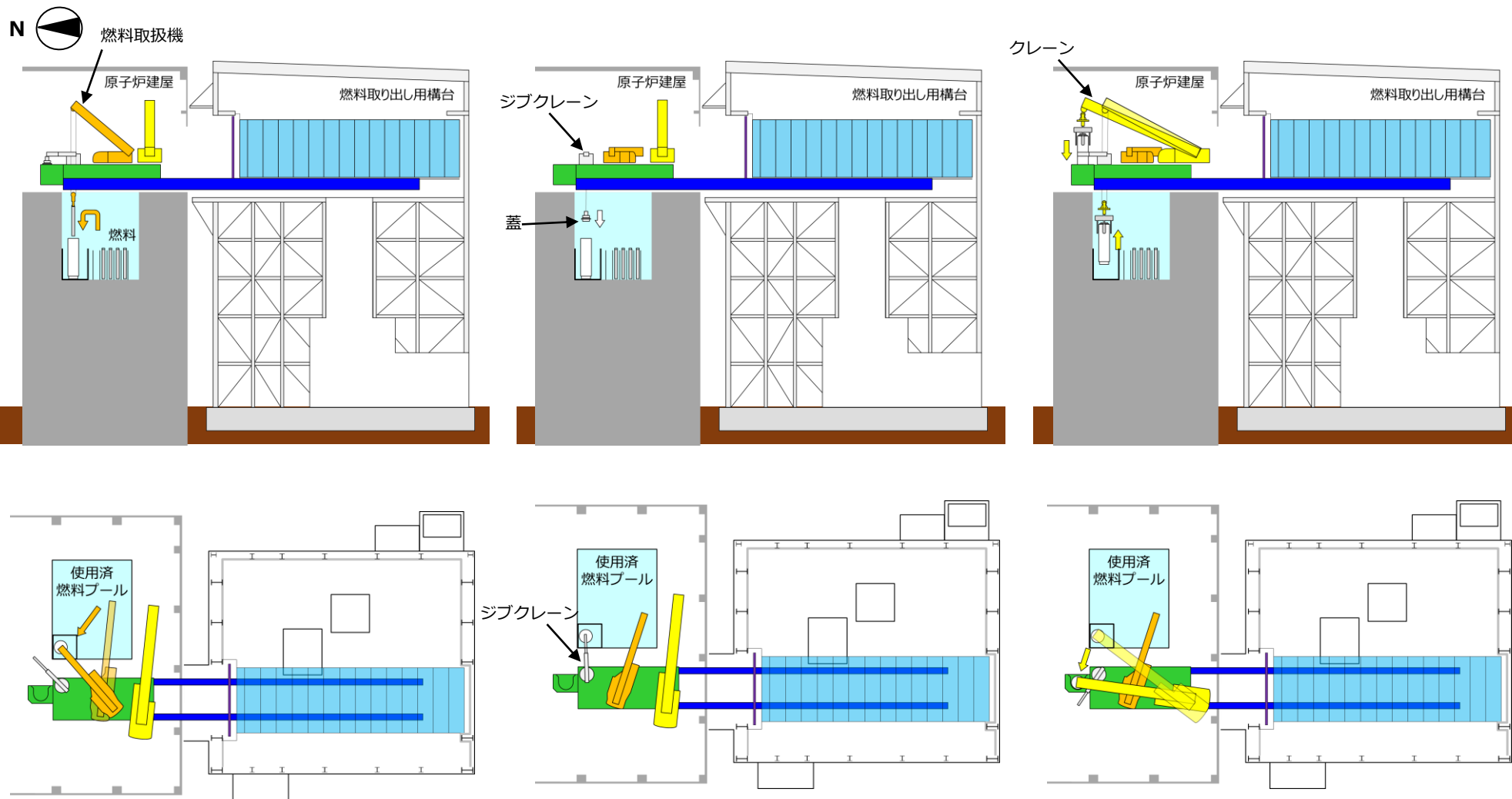


燃料取り出しのイメージ (上段:断面図、下段:平面図)

⑦ 燃料取扱機で燃料をカスクに収納

⑧ ジブクレーンでカスクの蓋を取付

⑨ クレーンにてカスク固定治具にカスクを積載

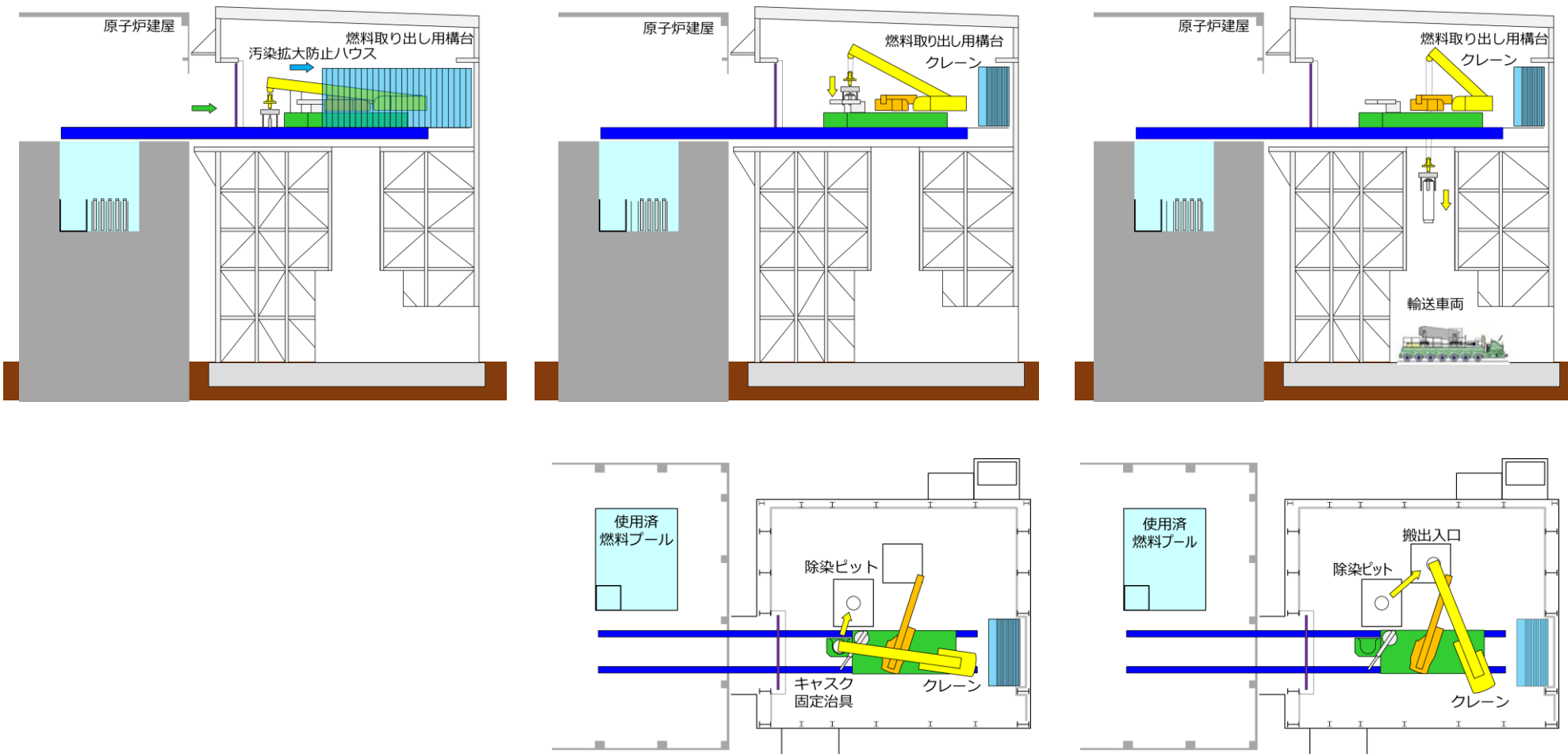


燃料取り出しのイメージ (上段:断面図、下段:平面図)

⑩ 燃料取扱設備を燃料取り出し用構台に移動し、汚染確認して汚染拡大防止ハウスを収納

⑪ クレーンでキャスクを除染ピットに移動し、キャスクを除染

⑫ キャスクを吊り下ろし、燃料取り出し用構台から搬出



燃料取り出しのイメージ (上段:断面図、下段:平面図)